

## 第6回桶川駅東口周辺地区まちづくり懇話会議事要旨

### <前回の振返りについて>

- ・南小跡地にはセンタービルのようなものが最低限必要だと思いますが、桶川マインとの繋がりを考えても、そのビルと駅を結ぶデッキを設置する必要があると思います。駅東口にエレベーターを設置する話もありますが、デッキがあれば、センタービルのエレベーターから直接駅に行くことも可能です。

⇒今回の駅前広場と駅通りの整備計画では、できるところから進めていくという方針を定めており、計画と駅舎自体の改善は切り離して考えることから、これから始めていく作業の中で、デッキを設置することを前提にプランを練るような形はとらないつもりでいます。ただ、その先の話として、デッキの検討についてご意見が出ていることについては、留め置きたいと思います。

### <市民アンケート調査の結果報告>

- ・今回のアンケートは桶川市在住で16歳以上の方を対象に、無作為に抽出した1,500人の方をお願いしました。現在の回収率は46.7%、700通くらいの回答をいただいています。内容については、基本的な属性のほか、地区に対する満足度と重要度、南小跡地に求められる機能などについてお伺いしています。現段階の暫定と言う形で資料を配布させていただきましたが、自由記述欄なども多くのご意見をいただいておりますので、これらについても内容を良く整理したいと考えております。また、前回資料として配布したまちづくりのイメージについてですが、南小跡地北側の道路について、歩いて暮らせるまちづくりの中で、東西軸、南北軸ともに歩行環境を充実させていくという意味も含めて、道路の改善を必要とする路線として今後の検討課題として位置づけたほうが良いのではないかと、という追加提案をコンサルティング会社からいただいております。

### <今後の懇話会の活動について>

- ・今まで基礎的な意見の集約としてはうまくまとまってきたと思いますが、市が主体的に整備する駅通りと駅前広場以外の、南小跡地やその周辺の整備を考えたとき、やはり中心母体のようなものが必要になるのではないのでしょうか。そういう意味で、進め方がもう一歩不足しているんじゃないかと思うのですが。

⇒コンペなどについては、時期が来れば検討する必要もあるかと思えます

が、まずは駅前広場や駅通りのレイアウト、まちのたたずまいなどの考え方、南小跡地の使い方、建物の配置や用途、機能など、そのような課題を委員の皆様と取りまとめていくのが一番良いのではないかと考えています。南小跡地については、民間の知恵と資金と活用しながら利活用する形ができればいいのではないかと思います。

- ・ ある程度南小のレイアウトをまとめるために、例えばコンサルタント、専門家にお願いしていただく必要性は、どう考えますか。  
⇒ 民間の方に様々なお知恵を頂く必要はあると思いますが、業者の選定方法や係わり方など、様々な議論があると思います。いずれにしても、将来の開発に民間の方がどのように係わってくるのか、ということもありますので、慎重に考えたほうがいいのではないのでしょうか。
- ・ 南小跡地の整備を、駅通りと駅前広場の整備と切り離して考えるのであれば、今のお話のような形でいいと思いますが、整備にかかる地権者の移転先とした場合には、整備時期を合わせないと難しいのではないかと思います。どちらかが遅くても、早くてもいけないんです。いかに同時に整備していくのか、ということが大事なのではないかと思います。  
⇒ おっしゃるとおりです。ただ、駅前通りと駅前広場はこれ以上放置できないことから、都市計画の手続きを先行しました。用地買収も、来年度から土地開発公社の資金を使って進めていきたいと考えています。そのような中で、今後の商店街の形成だとか、南小の開発をどう絡めていくかについては、各地権者のお考えなどを取りまとめた上で、これから議論をしていかなければいけないと思います。
- ・ この懇話会のゴールのイメージというものが掴みにくいのですが、どのように考えればよろしいのでしょうか。もし何か決まったものがあれば、教えていただきたいのですが。  
⇒ 今年度も委員の皆様には様々なご意見をいただきましたが、この懇話会は自由な意見交換を行っていただくことが目的であり、いただいたご意見を基に最終的な方向性などを市が責任を持って取りまとめる必要があると考えています。ゴールが見えにくい、というのは確かにおっしゃるとおりですが、ご理解をいただければと思います。